

発行責任者 北川崇誠

編集者 高榮耕平

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305

7月の「連合奈良の日」街宣

『裁量労働制の拡充など、長時間労働の規制緩和は過労死に繋がる』と訴える

7月7日(火)近鉄八木駅改札口前で、7月の「連合奈良の日」街宣行動を地協役員や組合員 19 人が『働くことを軸とする安心社会の実現』に向け訴えを行いました。街宣では『ワークルールを学ぼう!』ワークルールを知っていれば自分も周りも守れる!と、『労働安全衛生法等が改正されました』のビラとティッシュ 1000 枚を配布しました。



街宣では、働き方改革が叫ばれ7年が経過したが、働きすぎる過労死は今も変わらず健康被害が増え続けている。1日の仕事の終わりから次の日の仕事の始まりまでに一定の時間を空ける『勤務間インターバル制度』の義務化と、安心して休むため勤務時間外の業務連絡を断ることができる『つながらない権利』の確立を訴えました。また、健康に働き続けられるよう現行の特別条項付き36(サブロク)協定で認められている『1カ月の残業は100時間』と言う残業時間の上限を引き下げることが必要と訴えました。

連合奈良の推薦議員の森山県議、南浦宇陀市議、松浦宇陀市議、森永大淀町議からも連帯の挨拶を受け、最後に連合南和地協南副議長が『安心して働ける社会のため』連合の取組みにご理解とご協力をお願いしますとアピールを行いました。



「南和地区労働者福祉協議会」第16回定期総会を開催

6月19日奈良県社会福祉総合センターで、南和労福協定期総会を、代議員 35 人(委任状 14 人)と役員 13 人全員が参加し開催しました。

総会では、ジェイテクト労組の前中代議員を議長に、構ジェイテクト労組代議員を資格審査委員長に選出しました。

冒頭、南和労福協北川会長の挨拶に続き、来賓でお迎えした県労福協山本事務局長、ろうきん奈良統括本部西田本部長、こくみん共済奈良推進本部辻本次長に連帯の挨拶を受けました。



2025 年度活動報告では、南和労福協の各開催行事の報告、LSC 南和の1年間の相談実績の報告、LSC 南和の紹介ビラを配布した連合奈良の日の



街宣活動の報告に続き、2025 年度会計決算報告と監査報告が承認されました。

その後執行部から、第1号議案の2026 活動方針、第2号議案の会計予算、第3号議案の新役員体制が提案され原案通り採決しました。

閉会にあたり北川会長の掛け声のもと、「平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会をめざし」力強い団結ガンバローで終了しました。

連合南和地協・南和労福協合同 第15回ボーリング大会

10 単組 18 チーム 72 名が参加！



6月24日に南和地協、南和労福協共催でボーリング大会をレインボーワールド橿原で開催しました。大会には、10 単組 18 チーム 72 名（内女性 11 名）が参加し、隣のレーンの他単組とも和気あいあいと楽しく交流を深めることができました。

梅雨の大雨の中での開催でしたが、年休を取り大会の2時間前から練習を始める単組や、新しく若年組合員を引き連れ参加された単組など、最後まで楽しく競技を行いました。若年層からは来年も参加したいという声をいただきました。

参加者は、成績の良かった人も、いまいちの人も参加者全員に賞品が渡され、最後まで盛り上がった大会となりました。参加していただいた皆さまご苦労様でした。

【 団 体 賞 】



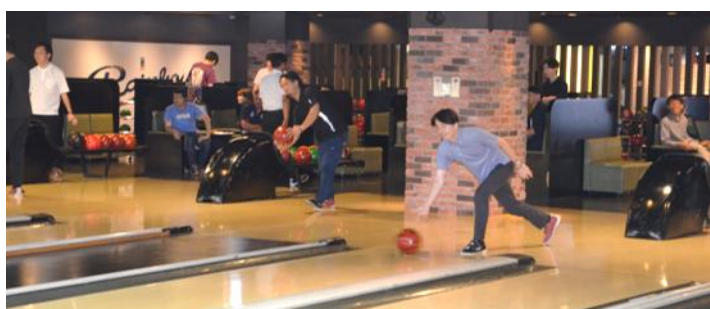
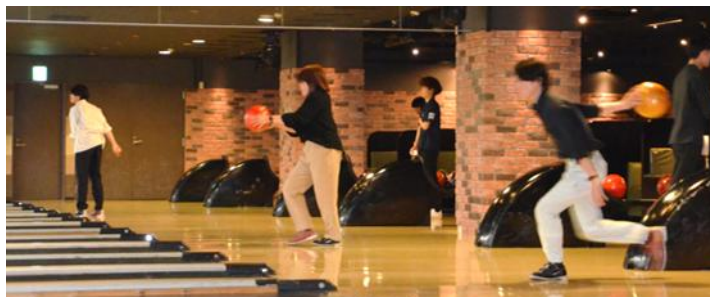
1 位
奈良医大労組
チューホー
1414 点



2 位
奈良医大労組
チーム堀
1372 点



3 位
JP 労組奈良
南和支部
1239 点



【 個 人 賞 】



1 位
西本 美穂
(奈良医大労組)
430 点



2 位
熊谷 慧
(奈良医大労組)
416 点



3 位
西崎 隼光
(JP 労組南和支部)
388 点

